

先輩移住者に聞いてみた！ 「YOUはどうして種子島へ？」

Case01

中割
校区

人生を振り返り、後悔しない生き方を

● 単身・1ターナー者の場合

移住の費用は

60万円

家具家電は
ほぼ現地で購入。
軽自動車に全て
詰め込みました！



キッカケは…？

20年前に来た時から波や地域の雰囲気がとても気に入っていた。いろんな出来事で移住は遠のいていたが、ある程度私生活が落ち着き、もっと充実した暮らしをしたいと考ええるようになった。その中で自分が年をとり振り返った時に悔いのない豊かな人生に思えるようにしたいと強く思うようになった。



現在の暮らしと仕事

現在は、中割校区内の地域活性化化住宅に住んでおり、半農半遊の生活を送っている。芋の収穫や苗の植え付けなど大変だが、現在指導してもらっている農家さんより無農薬栽培を教してもらい興味を持っている。今後は、ひとり農業を目指し頑張っている。

プロフィール

出身：大阪出身
家族構成（年齢）：単身（40代）
仕事：農業の見習い
前職：車のディーラー
移住歴：5ヶ月（R1.7月移住）

農業も
日々勉強です！

地域との関わり

移住初日から集落の全ての人に挨拶周りをした。そうすることで顔見知りが増えた。また地域活動に積極的に参加することで地域といい関係性になったと思う。



たまたま近所の住民が
同い年で、仲良くなりました！
農業のキッカケも実はこの
友人達。



彼のある一日【平日編】

- 4:30 起床
- 5:30 出勤
- 6:00 西之表市・中種子町で農作業
- 12:00 作業終了
- 13:00 ・夏場はシャワーを浴びて
昼食後サーフィン
- すぐ！
- ・冬場は昼食後サーフィン
- 17:00 夕食作り～休息
- 21:00 頃 就寝



地域のイベントにも参加しつつ趣味のサーフィンも楽しめて毎日NOストレスです！



島のせいじゃからよ～(島弁:そうだと思う)

種子島はサーフアイランドと呼ばれ、1年中、島のどこかに波があり、波の形がGood☆らしい。

先輩移住者に聞いてみた！ 「YOUはどうして種子島へ？」

Case02

榕城
校区

子育てしやすい地域の温かさ

● 3人家族・奥様のみ | ターンの場合

単身 | ターン者 → 種子島で結婚した場合

今後の
目標は・・・

西之表市に
家を建てる
こと！



好きだ！
種子島が



キッカケは…？

父の転勤で2年間西之表市の榕城小学校に通っていた。転勤族のため他の地域では地元の方と馴染めないことがあったが、種子島の友人達はみんなとても親切で、本当に良くしてもらった。保育士の資格を取得した後は、自然あふれる中で保育がしたいという思いも募り、島内の子ども園に新卒で就職をした。

当時の暮らしと仕事

当時、20歳で来た頃は知り合いは島外の大学に通っている方がほとんどで、友人は0人だった。しかし、楽器を持っていたことで、島内にある楽団に、就職した翌月から入部。そのことがキッカケでコミュニティが大きく広がった。

結婚～子育てを通して

友人が「知り合いがいるかもしれないから」とここの出身ではないが同窓会に誘ってくれたり、青年団にも入ることになり、それがきっかけで、現在の夫となる人と知り合い結婚に至った。現在は子育てと仕事の両立で日々奮闘しているが、子育てに協力的な夫とここで知り合った友人やママ友がいることで日々充実した生活を送っている。

プロフィール

妻の出身地:鹿児島県霧島市
家族構成(年齢):夫(30代)・妻(30代)・男の子(3歳)

仕事:妻 保育士・夫 公務員・子ども 保育園児

前職:なし(新卒採用のため)
移住暦:12年(H20.4月移住)

家族のある一日【休日編】

6:30 起床・朝食・家事

11:00 ママ友たちと一緒にランチ♪

☆食堂の敷地内にちょっとした公園や動物たちがいるので、ゆっくり過ごす。

15:00 帰宅・お昼寝

17:00 近くの海岸で夕日を
見ながらパパと一緒に散歩

18:00 夕食・休息

21:00 頃 就寝



海が一番の遊び場！
子どもは気づけば魚に
詳しくなっていました♪

就職当初は、病気で休む際に園の先生が心配して、おかゆを持ってきてくれたり、保護者の方も我が子と同じように心配してくれて、その優しさに、嬉しくて涙が出た日もありました。



家族のお気に入りの場所



島のそいじゃからよ～(島弁:そうだと思う)

島ならではの魚の呼び方は色々あります。飛魚→トッピー / キビナゴ→ぞこ など色々..